



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月29日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名  
コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 俊郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部C00 (氏名) 山口 大介 TEL 0561-51-0841  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

百万円未満切捨

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	34,822	24.1	12,789	47.9	11,999	24.8	8,440	24.5
2024年3月期中間期	28,063	△5.4	8,649	△18.5	9,616	△21.3	6,777	△21.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 9,273百万円 (24.7%) 2024年3月期中間期 7,438百万円 (△20.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	684.12	—
2024年3月期中間期	549.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	131,278	118,030	89.9
2024年3月期	122,515	109,203	89.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 118,030百万円 2024年3月期 109,203百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	43.00	—	43.00	86.00
2025年3月期	—	47.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,300	14.2	23,000	16.2	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	12,372,000株	2024年3月期	12,372,000株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	32,058株	2024年3月期	34,125株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	12,339,942株	2024年3月期中間期	12,337,296株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間は、中国経済が依然として回復不透明な状況が続く中、中国と欧米の間での貿易摩擦が進展し、地政学リスクが高まったほか、為替相場は引き続き変動する動きが継続されました。ハイテク市場においては、生成AI関連投資の活発化が見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、情報通信関連において次世代高速通信向けの業績が拡大したほか、車載関連において新エネルギー車向けが堅調に推移するなど各事業で需要環境が上向いた結果、売上高は前年同期比24.1%増の34,822百万円となりました。営業利益は前年同期比47.9%増の12,789百万円、経常利益は前年同期比24.8%増の11,999百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比24.5%増の8,440百万円となりました。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

#### ①セラミック部品事業

当事業は、情報通信関連において次世代高速通信向けの業績が拡大したほか、車載関連において新エネルギー車向けが堅調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比25.4%増の30,718百万円、セグメント利益は前年同期比45.2%増の13,036百万円となりました。

#### ②照明機器事業

当事業は、ショールームを起点としたオフィス照明案件の獲得、脱炭素社会に向けた公共のLED照明導入の案件の獲得に注力するとともに、円安や部材価格高騰に対応した高採算案件への特化を図り、利益の確保に努めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比14.8%増の4,104百万円、セグメント利益は前年同期比65.3%増の493百万円となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は92,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,943百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は38,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円減少いたしました。

これらの結果、総資産は131,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,763百万円増加いたしました。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は12,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。固定負債は447百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。

これらの結果、負債合計は13,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は118,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,826百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益8,440百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は89.9%（前連結会計年度末は89.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日米の政治動向、各国の金融政策及び地政学リスク等により、経済情勢は目まぐるしく変化しています。当社事業を取り巻く環境も引き続き不透明ではありますが、生成AI関連製品が下期も期待される事から、2025年3月期通期業績予想の変更は、もう暫くは行わないものとします。今後、各種動向を踏まえ、適切な時期に通期業績予想の修正をいたします。

下期の市場動向及び社内の状況は下記の通りです。

車載関連事業は、新エネルギー車向けの需要が堅調に推移しております。需要に対応するため工場建設による生産体制の強化に引き続き注力してまいります。

情報通信関連事業は、次世代高速通信の新規市場向けで一層の強い需要が継続しております。

半導体関連事業は、生成AI関連の市場活発化を背景に需要環境が上向いておりますが、メモリー半導体市場の本格回復が来期へとずれ込むことが予想されます。

上記内容を勘案し、通期着地に目途が立ち次第、早期に修正を行います。

なお、経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,250	64,882
受取手形	360	155
売掛金	13,960	14,318
電子記録債権	1,746	1,384
商品及び製品	2,248	2,103
仕掛品	2,960	3,427
原材料及び貯蔵品	4,575	4,673
その他	2,516	1,586
貸倒引当金	△133	△103
流動資産合計	83,485	92,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,947	14,787
機械装置及び運搬具(純額)	12,040	11,544
土地	5,005	5,007
建設仮勘定	2,952	4,176
その他(純額)	786	823
有形固定資産合計	36,733	36,338
無形固定資産		
その他	318	396
無形固定資産合計	318	396
投資その他の資産	1,977	2,114
固定資産合計	39,029	38,849
資産合計	122,515	131,278

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,957	2,618
電子記録債務	2,355	892
1年内返済予定の長期借入金	400	400
未払法人税等	2,851	3,696
賞与引当金	1,042	1,189
役員賞与引当金	124	6
その他	3,091	3,997
流動負債合計	12,821	12,800
固定負債		
繰延税金負債	127	85
その他	361	361
固定負債合計	489	447
負債合計	13,311	13,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,031	12,103
利益剰余金	87,573	95,483
自己株式	△210	△197
株主資本合計	108,042	116,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	115
為替換算調整勘定	989	1,878
その他の包括利益累計額合計	1,161	1,994
純資産合計	109,203	118,030
負債純資産合計	122,515	131,278

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	28,063	34,822
売上原価	14,054	16,101
売上総利益	14,008	18,720
販売費及び一般管理費	5,359	5,930
営業利益	8,649	12,789
営業外収益		
受取利息	82	99
受取賃貸料	58	66
為替差益	800	-
その他	67	72
営業外収益合計	1,008	237
営業外費用		
為替差損	-	969
支払利息	0	0
投資不動産賃貸費用	25	31
その他	14	27
営業外費用合計	41	1,028
経常利益	9,616	11,999
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	12	-
補助金収入	-	2,576
特別利益合計	12	2,576
特別損失		
固定資産除売却損	134	86
固定資産圧縮損	-	2,360
その他	7	-
特別損失合計	141	2,447
税金等調整前中間純利益	9,486	12,128
法人税、住民税及び事業税	2,646	3,745
法人税等調整額	62	△58
法人税等合計	2,708	3,687
中間純利益	6,777	8,440
親会社株主に帰属する中間純利益	6,777	8,440



(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	6,777	8,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	△56
為替換算調整勘定	629	888
その他の包括利益合計	660	832
中間包括利益	7,438	9,273
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,438	9,273

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	9,486	12,128
減価償却費	1,763	2,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△31
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	—
固定資産除売却損益(△は益)	134	86
受取利息及び受取配当金	△91	△103
支払利息	0	0
補助金収入	—	△2,576
固定資産圧縮損	—	2,360
売上債権の増減額(△は増加)	△2,395	333
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,057	△334
仕入債務の増減額(△は減少)	293	△1,150
その他	903	1,020
小計	9,032	13,892
利息及び配当金の受取額	91	103
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,633	△2,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	11,109
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,832	△3,828
有形固定資産の売却による収入	—	0
有形固定資産の除却による支出	△67	△72
無形固定資産の取得による支出	△35	△93
投資有価証券の取得による支出	△84	△133
投資有価証券の売却による収入	166	—
補助金の受取額	—	2,676
その他	△10	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,863	△1,446
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△133	—
自己株式の取得による支出	△3	△0
自己株式の売却による収入	17	—
配当金の支払額	△493	△530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△531
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	511
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△652	9,643
現金及び現金同等物の期首残高	49,585	55,013
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,933	64,656

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,489	3,573	28,063	—	28,063
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	94	97	△97	—
計	24,493	3,667	28,161	△97	28,063
セグメント利益	8,981	298	9,279	△630	8,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△630百万円には、セグメント間取引消去△1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,718	4,104	34,822	—	34,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	28	31	△31	—
計	30,721	4,132	34,854	△31	34,822
セグメント利益	13,036	493	13,529	△739	12,789

(注) 1. セグメント利益の調整額△739百万円には、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△761百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。